

図書便り 9 月号

2021年9月 発行：新宮中学校図書館

米中枢同時テロから二十年、先月末の米軍のアフガニスタン撤退をきっかけに、同国ではタリバン政権が復活しました。タリバンはイスラム教の教えに非常に厳格なため、この二十年間の民主化を支持する人びとや米軍や外国に協力してきた人びとは将来への不安や身の危険を感じ、国外に逃れました。今後民主的な統治が行われるのか、国際社会は注視していかなければなりません。そもそも米国がアフガニスタンに派兵したのは、米中枢同時テロの首謀者オサマ・ビン・ラディンをタリバンがかくまっているという理由からでした。しかし現在も、対テロ戦争の解決には至っていません。

真の道支援とは

『カカ・ムラド—ナカムラのおじさん』
ガフワラ/原著 さだまさし他/訳・著
(双葉社) 289カ



2019年、支援先のアフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。一方の「正義」を押しつけたりせず、相手の文化や思想を敬い寄り添うことを大切にしてきた中村先生の志を継いだ人びとの思いが形になった絵本。

米中枢同時テロ

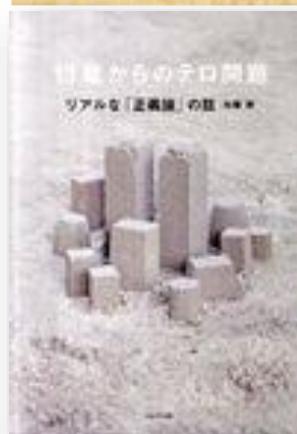
2001年9月11日、四機の旅客機がハイジャックされ、そのうちの二機が米国ニューヨークの世界貿易センターに、一機がワシントンの国防総省（ペンタゴン）に衝突（残りの一機は乗員・乗客が抵抗し途中で墜落）。合計で三千人近い死者が出た。犯行に及んだのは国際テロ組織アルカイダ。その首謀者オサマ・ビン・ラディンは、裁判にかけられることもなく2011年米軍特殊部隊により殺害された。

参考文献『13歳からのテロ問題』 加藤朗/著 (かもがわ出版)



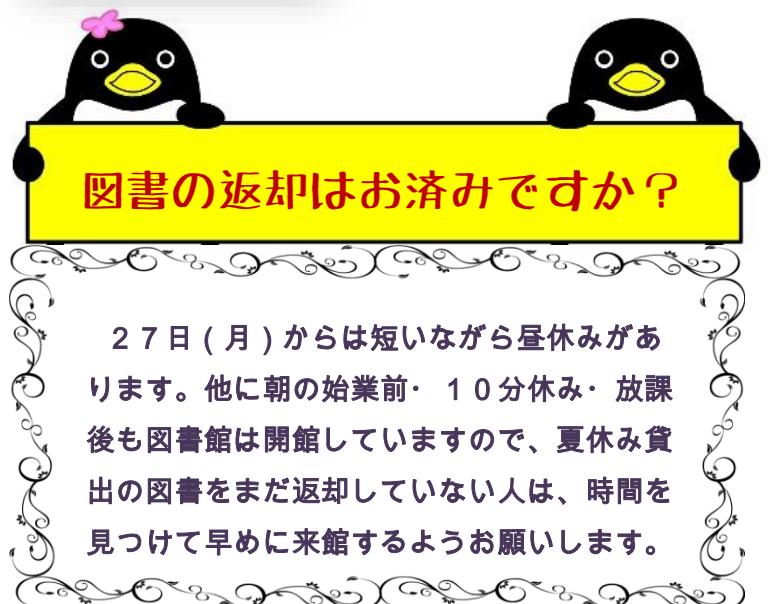
『池上彰の世界の見方 中東』
池上彰/著 (小学館) 302イ

現在の中東の混乱は、1978年のソ連によるアフガニスタン侵攻から振り返ると分かりやすいと説く。人気識者の解説で、中東情勢の基本が驚くほどよく分かる。



『13歳からのテロ問題』
加藤朗/著 (かもがわ出版) 316カ

米中枢同時テロ発生から10年の節目に、中学生に向けて行った授業の様子をまとめたもの。教師と生徒がともに学び、創り上げていく「共育」の現場に惹き込まれます。

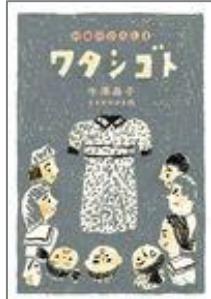


まだまだ熱烈募集中!

指定図書



★自由図書の部もあります



『赤毛証明』

光丘真理/著
(くもん出版) 913ミ
赤毛が地毛であること
を証明する印を生徒手
帳に押されたメグ。
意味のない校則に反
意を示して立ち上がった
少女の物語。

『ある日、透きとおる』

三枝理恵/著
(岩崎書店) 913サ
ある日、透明になつた。
親の期待に応えた
い、その思いが募り徐々
に自分が消えていく—。
本来の自分を探す旅が
始まる。

『ワタシゴト』

中澤晶子/著
(汐文社) 913ナ
書名は「渡し事=記憶
を手渡すこと」「私事=
他人のことではない、
私のこと」を意味する
著者の造語。戦争の遺
品は私たちに何を語り
かけるのか。

第65回西日本読書感想画コンクール



応募希望者は美術科の豊村
先生まで(10月15日締切)

課題図書

★自由図書の部もあります

『with you』

濱野京子/著
(くもん出版) 913ハ
母親の介護に携わる「ヤング
ケアラー」の少女・朱音に恋
をした悠人。誰かを大切に思
うことを描いた物語。



『アーニヤは、きっと来る』
マイケル・モーパーゴ/著 佐藤
見果夢/訳 (理論社) 933モ
第二次世界大戦中のフランス
の村。羊飼いの少年ジョーは、
ユダヤ人の子供たちの亡命を
助けることになる。命の尊さを
うた謳う、映画化もされた感動作。

『牧野富太郎：日本植物学の父』

清水洋美/著 (汐文社) 289シ
学歴はなくても、誰にも負けない情熱がある! 日
本全国の野山を駆け巡り、集めた標本は40万
点。数多くの新種を発見し、命名した植物は15
00種類以上。日本が誇る植物学者の人生。



応募希望者は図書館
まで (9月27日締切)